

2021年 秋号

市政
報告

完全無所属

柏市議会議員・社会保険労務士

北村かずゆき

こんにちは。皆様いかがお過ごしでしょうか。

お陰様で9月で2期目の任期折り返しを迎え、コロナウイルスにより活動の制約があるなか、自分が何が出来るかを考え一生懸命活動してきました。

コロナが猛威を振った8月には全国で1日の新規感染者が25,000人を超え、柏市でも連日150名を数え、医療が崩壊し失われた命もあり残念でなりません。

現在では劇的に感染者が減ってきているとはいえ、コロナとの戦いは一進一退と考え油断せずに感染対策をしまりましょう。

柏市はこれまでに蓄積した科学的データや露呈した医療提供体制・ワクチン接種体制など、様々な教訓や反省を活かし今後に繋げていく必要があると考えます。

私は引き続き「人と命に向き合う」信念で柏市に対しチェック・提案してまいります。

下記、表面に市政情報、裏面に私の行なった一般質問の一部ですが報告書を作成しましたのでご覧頂ければ幸いです。

皆様の益々のご発展とご健康を祈念致します。 2021年10月吉日 北村 和之

この柏に
確かな未来を!

補正予算成立、令和2年度決算過去最大

補正予算とは当初予算から不足や修正が必要な際に変更する予算で、緊急性・優先度の高い事業や自然災害などの際にも行われます。

令和3年度当初予算1,415億円から4月・6月に補正をし、9月には「自宅療養者支援や宿泊療養施設設置、保健所機能の強化、ワクチンの円滑実施、市内事業者への経済支援拡充など」に約42億円を計上し、1,470億円の予算規模となりました。

また、令和2年度一般会計決算では令和元年度と比較し、歳入歳出ともに国・県のコロナ対策財政措置により約40%の増となり、過去最大の約1,800億円となっています。

総会計（一般会計+特別会計）の借金は平成21年の2,155億円から現在1,283億円と減少していますが、今後も少子高齢化に伴う社会保障費の増大が見込まれるなか、厳しい財政運営と言わざるを得ません。

引き続き行財政改革の推進を求めています。

また、令和2年度一般会計実質収支は49億円で、貯金と言われる財政調整基金残高は令和2年度末で117億円となっています。



常任委員会は市民環境委員会へ所属

36人の全議員は常任委員会（総務委員会、市民環境、教育民生、建設経済）のいずれかに所属し、それぞれの所管である議案や市民からの請願などを審査します。

9月までの2年間は建設経済委員会に所属し、今回は市民環境委員会となりました。

主に、環境部、市民生活部、地域づくり推進部、水道部の所管に関する事項を担当します。

9月議会では2050年カーボンニュートラル（※）実現に向けて国に対し意見書提出を求める請願がありましたが、委員会・本会議において柏清風（自民党系）、公明党などの反対で否決されたことは残念です。

環境・気候変動問題は市民の今日明日の生活に関わる問題ではないかもしれませんが、我々の将来や次世代のためひとりひとりが向き合うべき重要課題であり、日本は世界と一丸で取り組み、特に政治力を発揮すべき性質のものとは私は考えています。

※カーボンニュートラルとは温室効果ガスの排出量と吸収量（植林や森林管理などの人為的取組みで）を均衡させ実質ゼロにすること。



柏市長選挙・衆議院選挙

この度、当初11/7投開票予定の市長選挙が衆院選と同日10/31投開票と決まりました。

（衆院選公示日10/19、市長選告示日10/24）

同日実施とすることで別日実施と比べ約7,000万円の費用軽減、投票率も約20%以上の向上が期待されます。

また、市長選挙においては現職の秋山市長が立候補しないことを表明されました。

現在4名の方が立候補を予定し記者会見をしています。

私は次の市長が誰になろうとも、これまでと同様「人と命に向き合う」信念のもと柏市民のために何をすべきか考え議論し、次期市長と是々非々で柏市のために務めていくことをお誓い致します。

高い投票率のなかで進んでいく政治を心から願っています。

それが多くの国民の思いを反映させる近道であると考えています。



広報かしわとハザードマップ全戸配布を！

現在約 6 割の新聞購読世帯に折込みの広報かしわ。逆に 4 割の世帯に情報が到達していない現状に問題意識を持っています。

非購読者や購読者減少、デジタル購読者もいます。

何よりコロナワクチン接種情報や、福祉、防災情報など全市民の「命」に関わる情報が多くの市民に届いていないことが問題と考えます。

希望者への宅配、コンビニ設置開始など市の一定の努力は認めますが不十分です。

議会では多くの場面で「広報かしわで周知している」という答弁がありますが、実際には市民へ伝わっていないのではないのでしょうか。

今後も行政が市民へ情報を伝える意識を強く持つよう、引き続き全戸配布を求めてまいります。

また、避難場所や警戒地域記載のハザードマップも平成 19 年から一度も全戸配布をしておらず、8 月議会で提案をしました。

現在、千葉県では土砂災害警戒区域の調査をしており、併せて今後平成 19 年度以来となる全戸配布を検討するとの答弁がありました。

ワクチン接種体制構築、6波への備え

ワクチン優先接種の対象に妊婦が加わったのは、コロナに感染した妊婦さんが入院できず新生児が亡くなってからでした。

このニュースは全国に報じられ、多くの自治体で妊婦へのワクチン優先接種が始まりました。

私自身、政治家として悔しく責任を感じます。

私は 6 月議会で基礎疾患患者へのワクチン接種を取り上げ、基礎疾患患者や元がん患者、配慮すべき方が居るという考えを持っていたのに、議会で妊婦への接種を取り上げられず悔やんでいます。

柏市では自宅療養者の死もありました。

コロナが蔓延し 1 年半、国も地方も十分な対策や医療体制を構築できず医療崩壊を防げなかった。

この責任は私を含む全ての政治家、行政の責任は免れないと考えます。

また、ワクチン接種に関し松戸市と比べ柏市は遅いなどの多くの声を頂き、9 月議会で訴えました。

私は接種券発送の遅れの指摘や、予約受付を病院や診療所に任せずに、柏市が一括システムで管理するよう求めました。今後 3 回目の接種も想定されます。

一括システムとしないことは結果的に多忙を極める医療機関や市民に大きな負担を強いました。

今後柏市は一括システムで予約できる方向に改めるとの事です。

教訓や学びを活かし、市民の命を守る万全の体制構築を求めてまいります。

南柏駅ホームドア 10/28 運用開始！

初当選時から強い思いを持議会で取りあげてきた「命を守るホームドア」が 10/28 より運用開始のニュースは特に嬉しく、関係各位の取組みに敬意と感謝を表します。

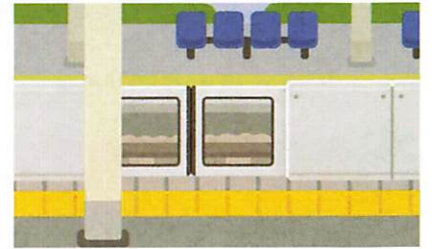
柏駅の緩行線（快速は 2032 年度末まで設置）、北柏駅では 12 月頃に運用開始の予定です。

市内の未設置駅は東武線で数駅あり、設置を願うところですが、1 日の乗降客数などの基準で未設置の状況です。こちらも求めてまいります。

また、全国に駅は約 9500 駅、番線は 19,000 存在するなか、ホームドア設置率は僅か約 10% です。

ホームドアが無い駅でいかに転落を防いでいくかも課題と考えます。

更に、ホームでの安全を守り監視する駅員の削減や早朝の無人体制などの実態もあり、安全を守るための「人」の力も重要と考えます。



補助犬マーク、補助犬トイレの理解を！

福祉や障がいへの理解が進んで欲しいとの思いで取り上げ、柏市の迅速な対応に感謝致します。

Q、2002 年に身体障害者補助犬法が施行され、公共交通機関や飲食店などで補助犬の受け入れが義務化された。

ただ、補助犬の多機能トイレの同伴や排せつを社会全体が広く理解されているとは言えない状況である。多機能トイレを含む市内公共施設入口などに広く補助犬ステッカーを貼って頂きたく要望しますが、認識はどうか。

A、身体障害者補助犬法では公共施設や公共交通機関、スーパーやレストラン、ホテルなど不特定多数が出入りする民間施設などに補助犬同伴の受け入れを義務付けていると認識している。

市では補助犬使用者が立ち寄る公共施設については入口にステッカーを掲示しているほか、特にトラブルになりやすい多目的トイレに掲示するなど職員及び市民への理解啓発に努めている。

今後は社会全体で補助犬マークの理解が進み、遠慮なく補助犬を同伴出来るよう周知啓発を進めていく。



北村
かずゆき
連絡先

〒277-0054
千葉県柏市南増尾 2-8-27
TEL 090-7414-4205
MAIL k.kitamura1981@gmail.com

北村
かずゆき
プロフィール

1981年 9月16日生まれ
1994年 酒井根小学校 卒業
1997年 酒井根中学校 卒業
2000年 東洋大学付属牛久高校 卒業
2003年 拓殖短期大学経営学部経営学科 卒業
2006年 社会保険労務士試験合格
社会保険労務所に勤務

2010年 参議院議員 秘書
～2014年
2015年 柏市議会議員選挙初当選
2019年 柏市議会議員選挙2期目当選
【現在】社会保険労務士としても活動中
【趣味】登山、読書、マラソン